

NDIS 0604 及び NDIS 0605 資格制度の JIS Z 2305 資格制度への移行について②

2012年より NDIS 資格制度として設立・開始した NDIS 0604（赤外線サーモグラフィ試験：TT）及び NDIS 0605（漏れ試験：LT）の資格制度ですが、非破壊試験技術の更なる普及を目指し、JIS Z 2305 資格制度に移行することを決定いたしました。

また、JIS Z 2305 資格制度への移行に伴い、レベル 3 資格の設置準備を進めており、準備が整った NDT 方法から資格試験を開始いたします。

詳細につきましては、改めて公表等を行う予定ですが、移行に伴う主な変更等について次に示します。

1. JIS Z 2305 資格制度による試験開始予定と NDIS 資格制度の再試験について

2019年春期試験より、JIS 資格制度による資格試験を開始する予定で準備を進めています。

従いまして、2019年春期には NDIS 資格制度による再試験は行いませんので、2018年秋期の NDIS 資格制度による資格試験を申請する場合は、2019年春期に再試験がないことを了解のうえ申請するようにしてください。

2. 新規認証申請と申請期間について

JIS 資格制度による新規認証は、2019年4月1日発効の認証資格から予定しております。

新規認証申請の期間（回数）が、NDIS 資格制度では3年間（6回）でしたが、JIS 資格制度では2年間（4回）となります。

NDIS 資格制度による試験に合格した場合であっても、認証申請の時期により JIS 資格制度での認証申請となり、新規認証申請の期間（回数）が変わりますのでご注意ください。

例えば、2017年秋期試験に合格した場合の新規認証申請は、2019年10月1日発効資格分（受付期間：2019年7月予定）の申請が最後となります（下表青枠参照）。

試験に合格した 年 期	認証資格の発効日										
	2016 4/1	2016 10/1	2017 4/1	2017 10/1	2018 4/1	2018 10/1	2019 4/1	2019 10/1	2020 4/1	2020 10/1	2021 4/1
2015 秋	①	②	③	④	⑤	⑥					
2016 春		①	②	③	④	⑤					
2016 秋			①	②	③	④					
2017 春				①	②	③	④				
2017 秋					①	②	③	④			
2018 春						①	②	③	④		
2018 秋							①	②	③	④	
2019 春								①	②	③	④
	NDIS 資格証明書						JIS 資格証明書				

3. 料金について

受験料	2018年秋期試験までは NDIS 資格制度の受験料 12,757 円（別途消費税）	⇒	2019年春期試験からは JIS 資格制度の受験料 17,000 円（別途消費税）
認証申請料	2018年10月1日発効資格までは NDIS 資格制度での認証申請料 10,000 円（別途消費税）	⇒	2019年4月1日発効資格からは JIS 資格制度での認証申請料 13,000 円（別途消費税）
更新料	2018年10月1日更新資格までは NDIS 資格制度での更新料 5,000 円（別途消費税）	⇒	2019年4月1日更新資格からは JIS 資格制度での更新料 7,000 円（別途消費税）

4. 最小限の訓練要求（訓練時間）と訓練シラバスについて

NDIS 資格制度から JIS Z 2305 資格制度への移行に伴い、最小限の訓練要求（訓練時間）が変更となり、それに伴い、訓練シラバスも変更となります。

JIS Z 2305 資格制度の訓練シラバスと訓練実施記録及び訓練実施記録集計表につきましては、準備が整い次第ホームページに公表致します。

	NDIS 資格制度	⇒	JIS Z 2305 資格制度
赤外線サーモグラフィ試験レベル 1 (TT1)	40 時間	⇒	40 時間
赤外線サーモグラフィ試験レベル 2 (TT2)	80 時間	⇒	80 時間
赤外線サーモグラフィ試験レベル 3 (TT3)	—	⇒	40 時間
漏れ試験レベル 1 (LT1)	40 時間	⇒	圧力法：24 時間 トレガス法：24 時間 (計 48 時間)
漏れ試験レベル 2 (LT2)	83 時間	⇒	圧力法：32 時間 トレガス法：40 時間 (計 72 時間)
漏れ試験レベル 3 (LT3)	—	⇒	圧力法：32 時間 トレガス法：40 時間 (計 72 時間)

5. 視力要求事項について

近方視力検査

NDIS 資格制度	⇒	JIS Z 2305 資格制度
文字の大きさは、Times Roman N6 又はそれに相当する文字の中の最小のものを読めること	⇒	文字の大きさは、Jaeger number1、Times Roman N4.5 又はそれに相当する文字(1.6mm の高さがあること)の中の最小のものを読めること

色覚検査

NDIS 資格制度	⇒	JIS Z 2305 資格制度
申請する NDT 方法で使われる色彩間のコントラストを見分けて識別できること	⇒	申請する NDT 方法で使われる色彩又はグレイスケール(灰色の濃淡)間のコントラストを見分けて識別できること

6. 大幅な中断について

NDIS 資格制度	⇒	JIS Z 2305 資格制度
認証を受けた個人の業務の欠如又は変更であり、連続した1年間を超えて職務を遂行できなくなる期間	⇒	認証を受けた個人の業務の欠如又は変更であり、連続した1年間又は2回以上の期間の総計で2年間を超えて職務を遂行できなくなる期間

7. NDIS 資格保持者について

NDIS 資格制度は、JIS Z 2305:2001 (ISO 9712:1999 MOD) をベースとするも、NDIS 規格制定時の最新規格である ISO 9712:2005 に準じて制定しているため、JIS Z 2305:2013 (ISO 9712:2012) へは視力の要求事項等の差分を満足すれば、容易に移行ができます。

その差分を確認することで NDIS 資格証明書から JIS 資格証明書への書き替えを予定しております。具体的な手続き等につきましては、準備が整い次第ホームページに公表致します。

以上